

「ミニトマトのそだて方ブック」を作ろう！ (たんぼぼのちえ)

本単元で育成する資質・能力

「本質を志向する価値観」
「思考力・判断力・表現力」

1 日 時 令和2年9月17日(木) 5校時

2 学 年 第2学年 19名

3 単元観

学習指導要領 第1学年及び第2学年

1 知識及び技能

- (1) ア 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。
(2) ア 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。

2 思考力・判断力・表現力等

C 読むこと

- (1) ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。
ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。
(2) ア 事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。

学習指導要領第1学年及び第2学年 1 目標

3 学びに向かう力、人間性等

言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

この単元の本質的な問いは、「どのように説明すれば、読者に分かりやすく伝わるか」である。本教材は、たんぼぼの花が咲いてから綿毛となって種をとばす過程を、時間を表す言葉を使って順序立てて説明している。また、時間を表す言葉が段落の初めに明確に示されていたり、たんぼぼの変化の様子とそれに対する理由が交互に位置づけられたりしているため、内容の大体を捉えやすい。本単元の学習を通して、順序立てたり、理由を位置づけたりして説明することが、文章の分かりやすさにつながっていることを児童は実感できると考える。本単元で身に付けた力は今後の説明文の学習にも大いに役立つと考えられる。

4 児童観・指導観

(1) 実態把握をする

レディネステストの結果から、文中に合う適切な接続詞を選ぶ問題の正答率は74% (14人) だった。また、段落内の文章がどのような順序で説明されているか考える問題は、正答率は37% (7人) だった。

これらのことから、説明の順序を考えて内容の大体を捉える読み方が定着していないことが分かった。

対象児童については、接続詞の意味理解や、説明の順序を考えながら読むことに苦手意識が見られた。

○対象児童の強みや特性

どの学習にも意欲的に取り組み、よく発表することができる。挿絵をヒントに文章の内容理解を深めることができる。

○対象児童の学習のつまずきとその要因分析

- ①文章に合う適切な接続詞を選ぶことが難しい。
・接続詞の働きや意味の理解が十分ではない。
②順序を考えながら、文章を読むことが難しい。
・文章のみだと書かれている内容を想像したり理解したりすることが難しい。
・文章内の語句の意味理解が十分ではない。

(2) 実態把握を指導方法の工夫に活かす

○学習のつまずきを解消し学ぶ意欲を促すために

- ・挿絵と文章を対応させたり、動作化させたりして内容理解につなげる。
- ・場面ごとに「時間を表す言葉」「ようす(知恵)」「わけ」を個人読みで探させる。
- ・挿絵をヒントに、挿絵に合う文章を考えさせる。
- ・「じく」や「あちらこちら」といった難語の意味を挿絵や動作化を通して考えさせ、内容理解につなげる。
- ・「まず」や「つぎに」を使った短文づくりを放課後学習で行い、接続詞の役割を理解させる。
- ・「～からです」といったわけを示す文末表現を、問答ゲームを通して慣れ親しませる。
- ・教材文の読み取りに重要なキーワードや文章構造を掲示しておく。
- ・「ミニトマトの育て方ブックを作る」という活動のゴールを設定し、見通しを持って学習に取り組ませる。

5 単元で育てたい資質・能力及び本単元の目標と評価規準

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
・複数の事柄が, 時間の観点で順序付けられていることを理解している。	【資】思考力・判断力・表現力 ア 構造と内容の把握 ・時間的な順序によって, たんぼぼの様子が変化していることを叙述を基に捉えている。 ウ 精査・解釈 ・描写・理由を表す表現を捉えている。	【資】本質を志向する価値観 ・進んでミニトマトの育て方の説明を考えている。

6 単元計画 (13 時間)

次	学習活動	児童の思考の流れ	観点			評価
			知	思	学	◇評価規準 ★資質・能力 (評価方法)
1	課題設定(1) ・「たんぼぼのちえ」から説明の工夫を読み取り, ミニトマトの育て方ブックを作ろう! 【学習課題の設定】 ・たんぼぼについて, 自分の知っていることを話し合う。	・ぼくたちも「ミニトマトの育て方ブック」を作ってみたいな。 ・1年生に教えてあげたいな。 ・どうやって書くと1年生がよく分かるかな? ・黄色い花が咲くよね。 ・白いわたげになるんだよ。 ・春から夏にかけてよく見られるよね。			◎	本質を志向する価値観 ◇★ミニトマト育て方ブックを作ることに興味をもっている。(発言・行動観察)
2	情報集・整理分析(1) ・教科書の範読を聞き, 挿絵の並び替えを行う。 ・初発の感想を書く。	・たんぼぼのちえっていくつあるのかな? ・どんなちえが, あるのだろうか? ・まず黄色い花が咲いて, その後たおれて, 白い綿毛ができるんだな。 ・天気によって, 綿毛が開いたり閉じたりするのが不思議でした。		◎		思考力・判断力・表現力 ◇★挿絵の並び替えを通して, たんぼぼが変化の様子を捉えている。(発言・ノート)
	情報集・整理分析(1) ・挿絵と時間的順序を表す言葉を手がかりに, 全文を六つの場面に分ける。	・なんか, 先生が出した文章の順番がおかしいな。 ・まず, 黄色い花が咲いて, その後白い綿毛ができるのに順番が逆になっているよ。 ・「春になると」「二・三日たつと」といった言葉がヒントになるね。 ・全部で六つの場面に分けられたよ。	○	◎		思考力・判断力・表現力 ◇★挿絵や時間的順序を表す言葉と対応した場面分けを通して, 順序の関係を捉えている。(発言・ワークシート) ◇複数の事柄が, 時間の観点で順序付けられていることを理解している。(発言・行動観察)
	情報集・整理分析(1) ・各場面の主語を確認しながら, 各場面のたんぼぼの様子に名前をつける。	・今回はたんぼぼの様子を「○○たんぼぼ」と名前をつけていくんだね。 ・最初の場面は黄色い花が咲いているから, 「花さきたんぼぼ」だね。 ・次の場面は花のじくが, ぐったり休んでいるから「ぐったりたんぼぼ」にしよう。 ・その後は「わた毛たんぼぼ」, 「ぐんぐんたんぼぼ」, 「すぼみたんぼぼ」だね。		◎		思考力・判断力・表現力 ◇★文章の中から重要な語句を選び, たんぼぼの様子に合う名前を考えている。(発言・ノート)

3	<p>情報集・整理分析(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「二、三日たつと」から時間的順序を確かめ、地面に倒れている様子とそうなる理由を読み取り、知恵をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は、花が咲いてから二、三日たったときのお話だね。 ・「ぐったりたんぼぼ」だね。 ・花はだんだん黒っぽくなって、花のじくがぐったり地面にたおれていくよ。 ・なぜなら、花とじくを休ませて、たくさんのおえいようをたねにおくって太らせるためだね。 ・「～のです」がわけを表す言葉なんだね。 ・「ぐったりたんぼぼ」のちえは、たねにたくさんのおえいようをおくするために、花とじくを地面にたおして休ませることだね。 	◎		<p>思考力・判断力・表現力</p> <p>◇★時を表す言葉と文末表現に着目して読み、花が咲いて二、三日たったころのたんぼぼの知恵とその理由を捉えている。 (発言・ノート)</p>
	<p>情報集・整理分析(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やがて」から時間的順序を確かめ、落下傘のようなわた毛の様子とそうなる理由を読み取り、知恵をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は、花がすっかり枯れてからのお話だね。 ・「わた毛たんぼぼ」だね。 ・花はかかれて、白いわた毛ができます。わた毛はひろがると、落下傘のようになる。 ・なぜなら、わた毛についているたねを、ふわふわととばすためだね。 ・「わた毛たんぼぼ」のちえは、たねをとばすために、らっかさんのようなわた毛をつくることだね。 	◎		<p>思考力・判断力・表現力</p> <p>◇★時を表す言葉と文末表現に着目して読み、花がすっかり枯れたころのたんぼぼの知恵とその理由を捉えている。 (発言・ノート)</p>
	<p>情報集・整理分析(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「このころになると」から時間的順序を確かめ、花のじくが起き上がって伸びる様子とそうなる理由を読み取り、知恵をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は、白いわた毛ができるころのお話だね。 ・「ぐんぐんたんぼぼ」だね。 ・花のじくがまたおき上がり、せのびをするようにぐんぐんのびていくよ。 ・風がよくあたって、たねをとおくまでとばすことができるからだね。 ・「～のです」だけではなくて、「～からです。」も理由を表す言葉なんだね。 ・「ぐんぐんたんぼぼ」のちえは、わた毛に風がよくあたるようにするために、花のじくがおき上がって、せのびをするようにのびることだね。 	◎		<p>思考力・判断力・表現力</p> <p>◇★時を表す言葉と文末表現に着目して読み、白いわた毛ができるころのたんぼぼの知恵とその理由を捉えている。 (発言・ノート)</p>
	<p>情報集・整理分析(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「よく晴れて、風のある日」「しめり気のある日」「雨ふりの日」から時間的順序を確かめ、天気によって綿毛が変化の様子とそうなる理由を読み取り、知恵をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は、よく晴れて、風のある日、しめり気のある日、雨ふりの日だね。 ・「すぼみたんぼぼ」だね。 ・晴れた日は、わた毛のらっかさんは、いっぱいひらいて、とおくまでとんでいくよ。 ・でも、しめり気のある日や雨ふりの日には、わた毛の落下傘はすぼむよ。 ・わた毛がしめって、おもくなると、たねをとおくまでとばすことができないからだね。 ・「すぼみたんぼぼ」のちえは、たねをとおくまでとばすために、晴れた日は、わた毛の落下傘は、いっぱいひらいて、しめり気のある日や雨ふりの日には、わた毛の落下傘はすぼむことだね。 	◎		<p>思考力・判断力・表現力</p> <p>◇★時を表す言葉と文末表現に着目して読み、天候による綿毛の知恵とその理由を捉えている。 (発言・ノート)</p>

	情報集・整理分析(1) ・たんぼぼが知恵を働かせている理由を読み取る。	・たんぼぼは4つの知恵を働かせているね。 ・どうして4つの知恵を働かせていたのだろう。 ・新しい仲間を増やすために4つの知恵を働かせていたんだね。	◎	思考力・判断力・表現力 ◇★たんぼぼが働かせている知恵とその理由を順序に沿って捉えている。 (発言・ワークシート)
	情報集・整理分析(1) ・著者がたんぼぼの描写とそのわけを関係づけて説明していることを読み取り、なぜそのような説明をしているのか考える。 (本時)	・たんぼぼは4つの知恵を働かせていたね。 ・どうして、植村さんは、たんぼぼの知恵を説明した後に、文章を付け加えたのだろう。 ・「たんぼぼのちえ」という題名だから、知恵の説明だけでいいんじゃないかな。 ・知恵を働かせる理由が分からないからじゃないかな。 ・理由が書いてあるから、なぜたんぼぼがそうするのか、よく分かるね。 ・「知恵—わけ」をセットにして書くと、読む人に、よく伝わるね。	◎	思考力・判断力・表現力 ◇★著者が、たんぼぼが働かせている知恵とその理由を関係づけて説明していることを捉え、その良さを考えている。 (発言・ワークシート)
4	パフォーマンス課題 まとめ・創造・表現(3) ・パフォーマンス課題に取り組む。 ・評価テストに取り組む。	児童の思考の流れは、8パフォーマンス課題の評価基準に示す。	◎	本質を志向する価値観 ◇★ミニトマトの育て方の説明を考えている。 (パフォーマンス課題) 思考力・判断力・表現力 ◇説明文の構造を理解して、問題を解いている。(テスト)

7 パフォーマンス課題

生活科の学習でミニトマトを育ててきましたね。たんぼぼの知恵で学んだ植村さんの説明の工夫を使って、「ミニトマトの育て方ブック」を作りましょう。そして、1年生にプレゼントしよう！

8 パフォーマンスの評価基準(ICEルーブリック)

9 本時の展開

	I	G	E
評価基準	ミニトマトの育て方の構想メモを立てている。	ミニトマトの育て方を順序立てて書いている。	ミニトマト以外の野菜の育て方を調べて、説明書を書いている。
反応例	時 苗を植え終わった後 やること 支柱を立てる わけ 苗がたおれないようにする 時 苗が7~8cmにのびたころ やること わき芽をとる わけ 必要な栄養を主枝に集中させる 時 このころになると やること 追肥をする わけ 実を大きくして、甘くする	Iに加え 苗を植え終わった後に支柱をたてます。これは苗がたおれないようにするためです。 苗が7~8cmにのびたころに、わき芽をとります。必要な栄養を主枝に集中させるためです。 このころになると、追肥をします。肥料を与えることで、実が大きくなり甘くなるのです。 このように育てていくことで、甘いおいしいミニトマトができるのです。	Cに加え 苗を植え終わった後に支柱をたてます。きゅうりは成長とともに実が伸びていくので、実をつけるとその重みで倒れてしまう可能性があります。 大人の背丈くらいまで育ったら、親づるの先を摘みます。高い位置に実がなると収穫などの作業が困難になるためです。 キュウリの実は大きくし過ぎると株が弱り収穫量が減ってしまいます。収穫適期を見逃さないように15cm~18cmの大きさにタイミングよく収穫します。 このように育てていくことで、おいしいキュウリができるのです。

(1) 目標

著者が、たんぼぼの知恵とその理由を関係づけて説明していることを捉え、その良さを考えることができる。

(2) 準備物

挿絵 センテンスカード

(3) 展開

学習活動	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点 ☆対象となる児童への支援	評価基準 (評価方法)
1 つかむ ⑧	<p>T：今までたんぼぼのちえを学習してきたね。 T：どんな知恵があったかな？ C：花とじくを地面にたおす知恵です。 白いわた毛を作る知恵です。 花のじくがおき上がって、せのびをするようにのびる知恵です。 晴れた日は、わた毛の落下傘は、いっぱいひらいて、しめり気の多い日や雨ふりの日には、わた毛の落下傘は、すぼむ知恵です。 T：なんで花のじくがたおれるの？ C：花とじくをしずかに休ませて、たねにたくさんえいようを送り、太らせるためです。 T：そうだね。わけの段落に書いてあったよね。このわけの段落はいるかな？いないかな？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">「わけ」はいる？いない？</div>	<p>☆既習事項を想起させると共に、意図的指名を行い、授業への参加を促す。 ☆挿絵をヒントに、知恵を想起させる。 ○二段落のセンテンスカードを掲示して確認する。 ○三段落のセンテンスカードを掲示して、わけの部分がどこに書いてあるか考えさせる。 ☆「～からです」「～のです」といった文末表現に注目させる。</p>	
2 さぐる ⑩	<p>T：三段落に書いてある「わけ」の文は、いるかな？いないかな？ C：「わけ」がないと、どうしてたおれるのか分からないよ。 C：「わけ」がなくても、ぐったりたおれるとは二段落に書いてあるからいらないうるよ。 C：なぜたんぼぼがぐったりと地面にたおれるのか分かるから必要です。</p>	<p>☆「描写（観察記録）」（白）と「知恵を働かせているわけ」（青）のセンテンスカードを色分けして違いを強調する。【視覚化】 ○自分の立場を決めさせる。 ○どちらの考えも認めつつ、なぜそう思ったのか考えを交流させる。 【共有化】 ○たんぼぼの描写と理由の文を矢印を使いながら関係づけられていることを理解させる。 ○必ず「描写（観察記録）」の後に、「知恵を働かせているわけ」が書かれていることをおさえる。</p>	
3 ねりあう ⑫	<p>T：続きの段落も見ていくよ。わけの段落は、文章が長くなるしいらないと思うんだけどみんなはどう思う？ C：「わけ」がないと知恵を働かせる意味がよく分からない。 C：「わけ」がないと、どうしてわた毛ができたり、わた毛が天気によって開き方を変えたりするのか分からないよ。 T：結局「わけ」は必要？必要じゃない？ C：必要です。たんぼぼの知恵のことがよく納得できるからです。</p>		
4 まとめる ⑬	<p>T：なるほど！よく分かったよ。では、まとめをしましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">たんぼぼがなぜそうするのかよく分かるから「わけ」はいる。</div>		
5 ふりかえる ⑭	<p>T：今日の学習から、ミニトマトの育て方ブックを書くとき生かせそうなことが何かありましたか？</p>		<p>思考力・判断力・表現力 A：著者が、たんぼぼの知恵とその理由を関係づけて説明していることを捉え、その良さを考えている。 (発言・ノート) B：著者が、たんぼぼの知恵とその理由を関係づけて説明していることを捉えている。</p>

	C：なぜそのような作業をするのか「わけ」をも書いたら，より一年生に分かりやすく伝わると思いました。		(発言・ノート)
--	---	--	----------